

あさみなみっ子ドッヂビー大会にむけて



今まで何度も審判の経験をしているメンバーは復習しながら、新たに審判を担当するメンバーは競技を通して猛特訓中です。

特に審判の経験のないメンバーは、試合形式での実技研修に積極的に挑戦しました。早い動きの中でのきわどい判定をするケースもありますが、自信をもって判定を行うことが重要であると学びました。

改めて、試合開始前の選手整列から試合終了後成績発表するまでの一連の流れと、主審・副審・線審等の各担当の役割とルールを確認し、大会に備えております。

大会当日には、区内の4学区においてドッヂビー大会が予定しております。積極的に参加して審判を行い、スキルアップをし、大会の盛り上がりに寄与したいと考えております。

あさみなみ

令和7年2月1日発行

発行：広島市安佐南区
スポーツ推進委員協議会

発行責任者：会長 中村 靖

編集：広報部

**第16回あさみなみっ子
ドッヂビー大会開催
日 時：令和7年3月9日(日)
場 所：安佐南区スポーツセンター**



第30回 広島市スポーツ・レク
リエーションフェスティバル

令和6年10月13日(日)に第30回
広島市スポーツ・エクスポート・ショウが
エスティバルが広島広域公園ほか、全
12会場で盛大に開催されました。總
參加者数は40,707人で昨年より
5,000人以上増えた活気のあるイ
ベントになりました。

また、参加者は、課題で頭を捻り、ゲームでは、成功すると歓声を上げ、大盛り上がりました。参加者の笑顔が印象的でした。



ニュースボツ休憩

「ユースポーツ体験は、年齢や性別に問はず、遊び感覚で楽しめる軽競技」で、競技が体験でき非常に多くの参加者で賑わいました。

その中で今回世太極柔力球(たいじゆうりゅうけきゅう)を紹介します。

太极柔力球は、中国生まれの新しいスポーツで、ロウリーボールとも呼ばれ、軽いラケットにラバーボールを乗せ、音楽に合わせて身体をゆっくりと動かしていきます。ボールの弾みと共に、肩を大きく回したり、体幹を捻り、スカット・モードなど、様々な

第59回広島市
スポーツ推進委員研究大会

令和6年12月14日(土)、マエタハ
つジンク安佐南区民文化センターで、
「スポーツ推進委員としての意識向
上～スポーツの力で地域を元気にして」
を全体テーマとして掲げ、市内各区の
スポーツ推進委員が一堂に集い、研究
大会が開催されました。

せんぬ!』中国地区活動委員会と全国研究協議会への参加報告を佐伯区の

次に、NPO法人トップス広島の松田真一理事長より「私たちのバトン（想い）を繋ぐ」と題し、トップス広島の目的や活動事例のほか、現在の運動環境や広島の子供の体力について

の講演がありました

なかでも松田理事長は子どもたちが楽しいと感じると笑顔もあふれ、その笑顔を見た親世代が地域活動への参加意識向上につながっていくのではないかと述べられました。

そのほか、体験会場にはスタンプマリーラーがあり、500名以上が参加されました。

「これからスポーツ推進委員の役割」をテーマに中区、東区、安佐南区、安佐北区より事例発表がありました。

ルの研修会の模様など安佐南区の活動報告をされたうえで、ホームページで地域を元気にするためには『アボーツ推進委員が樂しく元気に活動する』ことが大事という発表をされ、多くの拍手をいただきました。

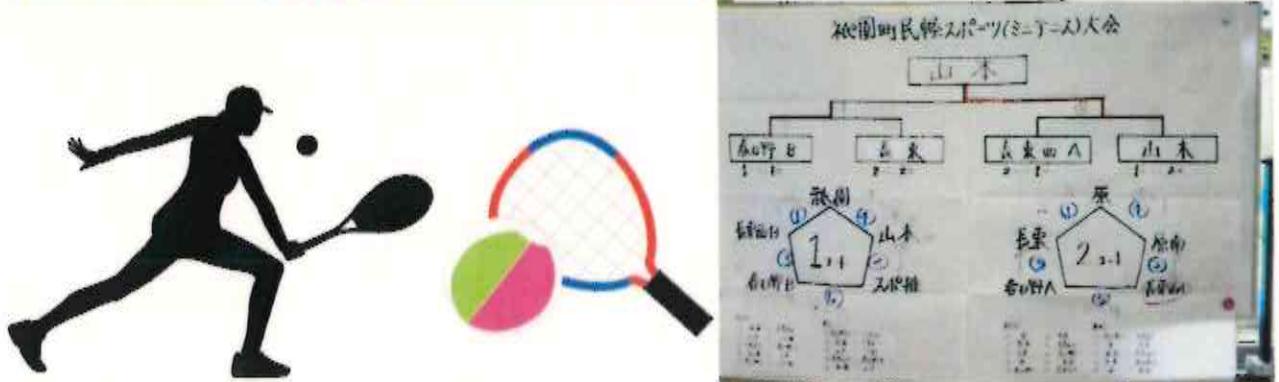


安佐南区の活動報告をされる
樋田さん（左）と渡鍋さん

祇園町民軽スポーツ大会 ミニテニス

令和6年11月17日(日)、祇園町民軽スポーツ大会が長東小学校体育館で行われました。

種目はミニテニスです。ミニテニスは、テニスのケットを小さくしたものと、ボール製の大きなボールを使い、バドミントンコートでプレーします。試合はダブルス制で、すべてワンバウンスしたボールを相手のコートに打ち返すことを基本としています。ミニテニスは小さな子どもから年配の方まで、幅広い年齢層で楽しむことができるスポーツです。



参加者のみなさんが笑顔で楽しんでいる様子を見ると嬉しかったです。

これからもスポーツ推進委員は地域のみなさまが笑顔で元気になっていただけるよう、スポーツ行事を企画運営し、研修会などにも積極的に参加し、地域の人とのつながりを大切にスポーツに興る楽しみを忘れないように活動していきたいと思います。

今回は原、原南、祇園、長東、長東西A、長東西B、山本、吉田野A、吉田野B、スポーツ推進委員会同チームの合計10チームが参加しました。

1コート、2コートに5つのチームがあり、各初心者、経験者、熟練者が入り混じり、各コートの試合は笑顔で盛り上がり、そして準決勝と決勝となるとだんだん白熱していました。回数をのんびり見守る人、声を出して応援する人がいる中、ファインプレーや長いラリーには大きな拍手がおきました。

安佐南区民交流駅伝大会



令和6年12月10日(日)、第25回安佐南区民交流駅伝大会が広島広域公園内ボックスで開催されました。

大会当日の早朝は幾分雲が太陽を覆っていましたが、徐々に晴れ間が現れ、柔らかな陽光が差し込む中、盛大に開会式が行われました。

1チーム6人、1~3kmの区間を区内の学校・職場・地域・家族などで編成された44チームの若者男女の選手たちが、それぞれの思いを込めて懸命に走りました。

お揃いのユニフォームで参加をする子供たちは、恐竇や手甲人の着ぐるみや魔女のコスチュームなど、衣装を楽しむな

がら参加するチームもあり、大いに盛り上がりました。

大会実行委員や競技運営委員として担

当する私たちスポーツ推進委員から「apse推進ハナ太子」として参加し、総合2位と優勝しました。

閉会式の結果発表では、大きな歓声や拍手が鳴り響き、走り切った達成感も相まって参加した選手たるに尊敬と笑顔が広がりました。

今大会も皆様の協力があり、大成功で幕を閉じました。

安佐南区スポーツ推進委員 交流会(ペタンク)

令和6年10月26日(土)、山陽電北広島町の「廣島ひびの村」で安佐南区スポーツ推進委員交流会が開催されました。

今年度は沼田地区のスポーツ推進委員のみなさんが協力して、企画・準備・運営をお手伝いして、参加者43名、農場付きのコースで屋外べターベンをしました。

わくわくしながらハイテンポなペタンクのゲームを楽しめました。

1チーム2~3名、4つのブロックに分かれ、対戦時間40分で4チームぶんのリーグ戦でした。

ルールやお隣の説明があり、みんなで投球練習後、各チームに分かれて試合が始められました。



編集部記

働き方やライフスタイルの変化と共に、スポーツの面倒も自然化していくます。私たちが「やる」「やめ」「やめた」などのペースが活動を連れて、地域の子どもから高齢者まで、特に女性世代が運動」スポーツに親しむ機会と交流の場を提供し続けたいと願っています。

初めてペターベンをする人もこの中でパートナーがいるからか、上手な腕前や笑顔、ハグのチームも和気あいあいと楽しんでいました。